

## 「信じる者を義となさるために」

### ローマの信徒への手紙 3章 21～26 節

女子聖学院中学校高等学校チャプレン 木戸 健一

10月31日は、何の日でしょうか。そうです、ハロウィンです。ハロウィンは、キリスト教がヨーロッパに広まる以前からある秋の収穫の祭りで、悪霊などを追い出す、宗教的な意味合いのある行事でしたが、現在では宗教的な意味合いは、ほとんど無くなっています。カトリック教会は、ハロウィンとキリスト教を関連付けようとしたが、元来キリスト教とは、関係がないと考えられます。

500年前1517年のハロウィンの日に、現在のドイツで宗教改革が起こりました。今年は、宗教改革から500年目のプロテスタント教会にとって記念すべき年です。10月31日に向けて、多くのプロテスタント教会では記念の行事が行われていますが、正直に申し上げてあまり知られてはいないでしょう。500年前に起こった宗教改革のきっかけとなった出来事も、ひっそりと起こった、人にあまり知られることのない出来事でした。ザクセンという国のヴィッテンベルクという小さな町のお城にある教会の扉に、カトリック教会の修道士で、この町に出来たばかりの大学の新約聖書学の教授であった、マルティン・ルターが、ローマ教皇に向けて95か条の公開質問状を貼り出したのです。それは正当なルールに沿って行われたもので、ルターは大事になるとは考えてもみませんでした。その内容は、その頃、カトリック教会が贖宥状あるいは免罪符と呼ばれるものを販売していたことを批判するものでした。初めはカトリック教会も問題にせず、無視していました。ところがこの公開質問状を書き写して印刷したものが、ヨーロッパ中に広まり、宗教改革という大きな運動へと展開していったのです。500年前の10月31日にひっそりと貼り出された一つの文書がプロテスタント教会を生み出したのです。

宗教改革の3つの原理は、「信仰のみ」、「聖書のみ」、「万人祭司」です。「信仰のみ」は、わたしたちが救われるのは、ただイエスさまを救い主キリストと信じる信仰によるのだということです。そしてイエスさまをキリストと信じる信仰は、聖霊がわたしたちに働いてくださるという神さまの恵みによって与えられるのです。わたしたちが何か努力をしたからではなく、聖霊の働きという神さまの恵みによって与えられるのです。この信仰によって、滅びから永遠の命へと救われるのです。「聖書のみ」は、信仰が聖書を通して与えられることを示しています。わたしたちは、聖書によってのみ、父・子・聖霊なる神さまを知るのです。ですから聖書は、誰にでも読めなければなりません。そこでルターは聖書をドイツ語に訳します。読み書きができるようになるために、小学校の設立に力を尽くします。そして活版印刷の普及によって、聖書は人々の手に届くようになるのです。「万人祭司」は、カトリック教会の司祭(神父)や、プロテスタント教会の牧師などの教会の聖職者の役割を、すべての人が果たすことができると言っているではありません。すべての人が教会の司祭などの聖職者の役割を果たすことはできませんが、すべての人がユダヤ教の聖職者である祭司の役割を果たすことはできると言うのです。ユダヤ教の祭司は、エルサレム神殿で小羊などを犠牲としてささげ、人々の罪の赦しを、神さまに執り成して

いました。ユダヤ教では、祭司に犠牲をささげてもらわなければ罪は赦されませんでした。しかしキリスト教では、もう犠牲をささげる必要はありません。イエスさまが十字架の上で、人々の罪のために犠牲となってくださったからです。イエスさまご自身が犠牲となって、わたしたちの罪の赦しを父なる神さまに執り成してくださいました。神さまとわたしたちとの間に立つてくださるイエスさまを救い主と信じていれば、罪のために途切れてしまった神さまとの関係は回復されます。わたしたちは、ただイエスさまを救い主キリストと信じて、イエスさまに罪の赦しを祈り求めれば良いのです。祭司が罪の赦しを神さまに求めて、犠牲をささげるように、わたしたち一人ひとりが、イエスさまの前で罪を悔い改めれば良いのです。

ドイツでは、プロテスタント教会を福音教会と呼んでいます。わたしたち一人ひとりが聖書を通してイエスさまを救い主キリストと信じれば救われる、それが福音です。ルターは、聖書、特に先ほど拝読いたしました、ローマの信徒への手紙を通して、福音の真理を新たにとり、再び発見しました。ルターは、この福音の真理をローマ教皇に認めてもらうために、公開質問状を教会の扉に貼り出したのです。そして 500 年前に起こったこの出来事は、ルターの思いを遥かに超えて、ヨーロッパに宗教改革をもたらしました。そして、今この時にも福音の真理をわたしたちに教えてください。それは、わたしたち一人ひとりが、一人の人間として、罪を悔い改め、聖書を通して、イエスさまを救い主キリストと信じさえすれば、死では終わらない永遠の命に救われることなのです。

お祈りいたします。

父、子、聖霊なる神さま。

この朝も、わたしたちに神さまを礼拝する時を与えてくださり、感謝いたします。宗教改革から 500 年目を迎えるこの年、わたしたち一人ひとりを、一人の人間として、罪を悔い改め、聖書を通して、イエスさまを救い主キリストと信じ、滅びから永遠の命に救われる者としてください。わたしたちの尊い救い主イエス・キリストの聖名によって、お祈りいたします。アーメン

2017 年 10 月 11 日 女子聖学院高等学校 高校チャペル礼拝